



アイレベル（南西より北東を見る）



鳥瞰図（北西より南東を見る）

竣工イメージ図

こちらはイメージです。実際とは異なる場合がございます。

1 基本方針

5つの基本方針

1. 火災、災害に強く、安心・安定な施設

- 独自の火災検知と予防、迅速な初期消火による延焼防止
- 想定最大浸水水位5.7m (GH+49.7m) に対応した防水設備

2. 混雑対策と工夫の動線配置によるやさしい施設

- 一般持込車線の完全2車線化と持込専用ヤード設置により混雑を解消
- 場内自動案内システム、キャッシュレス決済によるスムーズな入退場

3. エネルギー有効利用と資源循環で持続可能社会に貢献する施設

- 最高レベルの高効率エネルギー回収システム
- 一般持込受入時の選別員による分別、高純度・高回収率を実現するシステム

4. 地域の皆様に信頼され、愛される施設

- あらゆる世代に配慮した見学者設備、サーマルリサイクルと食育を結び付けた環境学習
- 周囲の環境に配慮しつつ、雄大な自然と調和するデザイン

5. 経済性に優れた施設

- オール十勝の土建JVと代表企業とで作り上げる地域経済貢献への最大化
- 手厚い財務支援と細密なリスク管理による安定した事業運営

2 施設概要

事業概要

| | | | |
|-------|--|-------|---|
| 事業名称 | 中間処理施設建設工事 | 発注者 | 十勝圏複合事務組合 |
| 施設規模 | 焼却処理施設 292t/日 (146t/24h×2炉) 大型・不燃ごみ処理施設 61t/日 | 施工監理者 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 処理対象物 | 焼却処理施設：可燃ごみ、破碎可燃物、資源残渣、肉骨粉等 大型・不燃ごみ処理施設：大型ごみ、不燃ごみ、有害ごみ等 | 工事請負者 | JFE・宮坂・ネクサス・村上・北土・加藤 特定建設工事共同企業体 代表企業 JFEエンジニアリング株式会社 構成会社 宮坂建設工業株式会社 株式会社ネクサス 村上市建開発工業株式会社 株式会社北土開発 加藤建設株式会社 |
| 建設場所 | 北海道帯広市西21条北4丁目5番1ほか | | |
| 建設期間 | 令和5年11月30日～令和10年3月31日 | | |
| 運営期間 | 令和10年4月1日～令和30年3月31日 | | |

建築概要

| | |
|------|-------------------------------|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 |
| 階数 | 地上6階、地下1階 |
| 建物高さ | 約45m |
| 煙突高さ | 約59m |
| 敷地面積 | 約62,000㎡ |
| 建築面積 | 約12,800㎡ |
| 延床面積 | 約24,600㎡ |

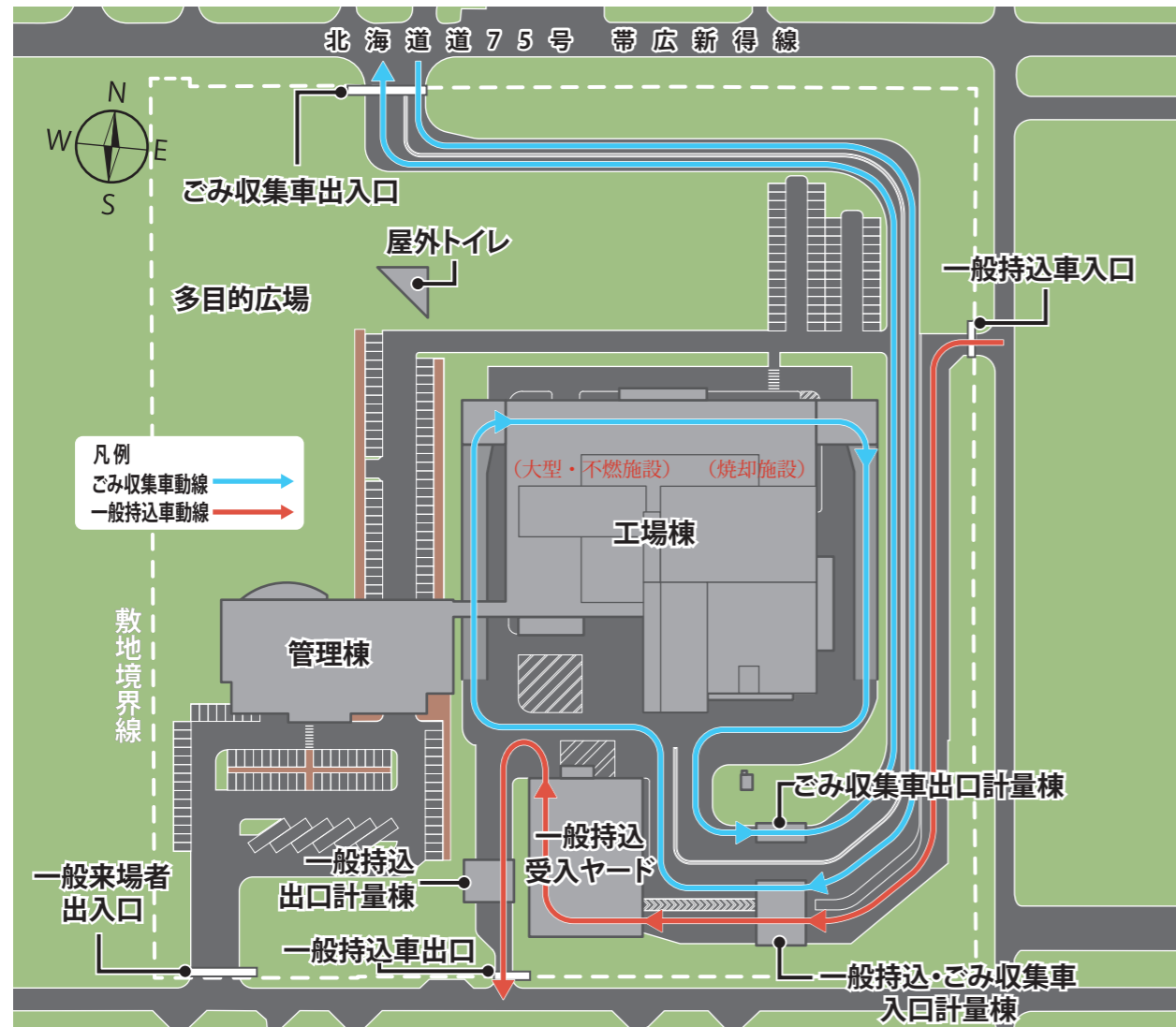
プラント設備概要

| | |
|----------|---------------------------|
| 受入・供給設備 | ピット&クレーン方式 大型・可燃ごみ粗破砕機 |
| 燃焼設備 | ストーカ式 |
| 燃焼ガス冷却設備 | 廃熱ボイラ方式 |
| 排ガス処理設備 | 消石灰・活性炭吹込み ろ過式集じん器 |
| 余熱利用設備 | 蒸気タービン発電 |
| 灰出し設備 | ピット&クレーン方式 |

3 位置図



4 配置計画

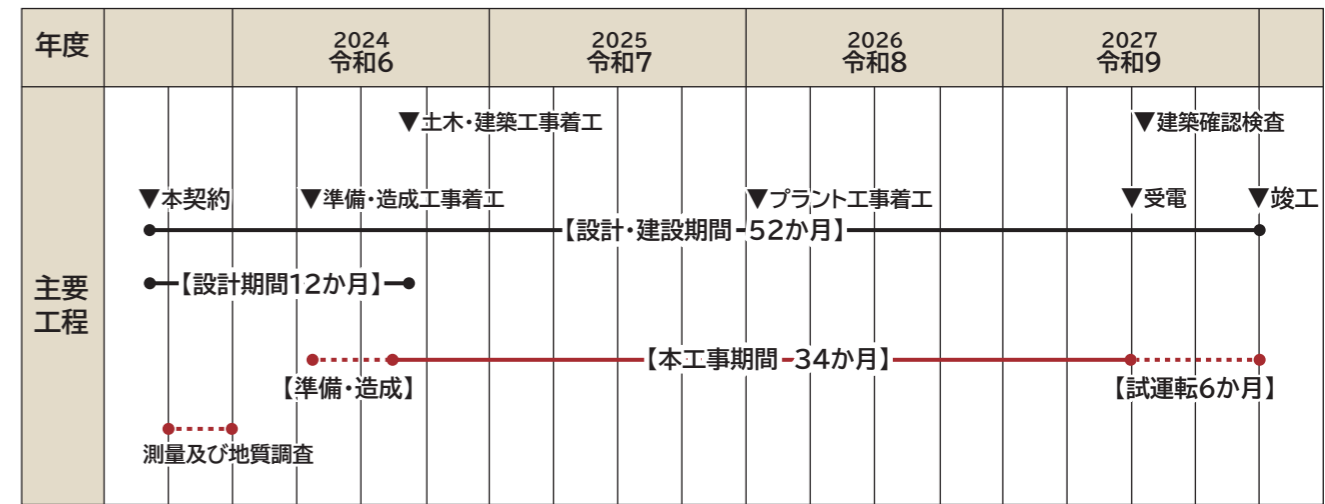


5 公害防止基準

| 項目 (大気質) | 単位 | 法規制値 | 自主基準値 |
|-------------|-------------------------|--------------------------|-------|
| ばいじん濃度 | g/m ³ N | 0.04 | 0.02 |
| 硫黄酸化物濃度 | ppm | 2700~2900 (K値=17.5以下) | 100 |
| 窒素酸化物濃度 | ppm | 250 | 150 |
| 塩化水素濃度 | ppm | 430 | 100 |
| ダイオキシン類排出濃度 | ng-TEQ/m ³ N | 0.1 | 0.1 |
| 水銀濃度 | μg/m ³ N | 30 | 30 |

※上記は全て乾き排ガススペース、O₂12%換算値とします。

6 工事工程



7 工事中の環境保全対策

◆住民の皆様への配慮

- ・騒音・振動対策・・・低騒音型、低振動型ハイブリット型掘削機械の使用につとめる
- ・周辺の渋滞対策・・・コンクリート工事車両をGPS管理し、工事用出入り口付近での工事車両による渋滞を防止

◆周辺環境への配慮

- ・隣接耕作地への濁水流出対策・・・素堀り側溝及び土堰堤をもうけることで場外への濁水流出防止
- ・隣接耕作地への光害対策・・・隣接耕作地側の工事用照明を光害対策とし農作物への光照射抑制するとともに、交錯地境界から仮囲いを後退させ昼光を確保
- ・粉じん飛散対策・・・環境対応型粉塵防止剤散布やミストの噴霧の実施
- ・霊園利用者への配慮・・・工事用出入口と霊園入り口側に十分な距離を確保し、霊園利用者への安全に配慮

8 主な工事車両通行ルート



38号線からの経路を記載